

龍谷大学ジェンダーと宗教研究センター：連続ワークショップ「性なる仏教」

第4回「ルッキズムな仏教」

2022年12月10日（土） 12:00－16:00

発表者プロフィール

- 大谷 由香（龍谷大学特任准教授）

1978年生まれ。2006年龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学後、2009年博士学位（文学）取得。2017年4月から本学特任講師、2020年4月から現職。東アジアの仏教戒律思想の変遷を専門とする。

単著に『中世後期泉涌寺の研究』法藏館（2017年）、論文に「越境する戒律問答」（2022年）などがある。

- 河上 麻由子（大阪大学大学院准教授）

1980年生まれ。北海道大学大学院博士前期過程修了後、九州大学大学院博士後期過程に進学。2008年に単位取得退学、2010年に博士（文学）を取得。

主著は『古代アジア世界の対外交渉と仏教』（山川出版社、2011年）、『古代日中関係史』（中央公論新社、2018年）。

- 大島 幸代（中之島香雪美術館学芸員）

1978年生まれ。2013年に早稲田大学大学院博士過程（後期）を単位取得退学。早稲田大学會津八一記念博物館、龍谷大学龍谷ミュージアムの学芸員を経て、現職。中国と日本の仏教美術史を専門に研究を進め、関連する展覧会を企画。

主著に『来迎 たいせつな人との別れのために』（公益財団法人香雪美術館、2022年）、「迦毘羅神考—靈泉寺大住聖窟における造像を中心に—」（『アジア仏教美術論集 東アジアⅡ 隋・唐』中央公論美術出版、2019年）。